

		学科	法律行政学科	
		学年	1 年次	
科目名	数的推理		授業形態	講義
			必選の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数
			80 時間	
科目教員	教員名		実務経験教員	単位数
	駒沢 裕喜			4 単位
	筒井 悠麻			授業回数
	本多 功拓			40 回
	土田 達也		成績評価方法	試験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】公務員採用試験における数的推理科目に必要な知識の修得 【到達目標】基礎レベルの問題を解けるようになる。			
授業内容	回 01～04:方程式 05:まとめ試験 第1回 06～09:整数・計算パズル 10:まとめ試験 第2回 11～14:割合と比 15:まとめ試験 第3回 16～19:速さ 20～21:仕事算 22:まとめ試験 第4回 23～27:場合の数 28～29:確率 30:まとめ試験 第5回 31～40:問題演習		回	
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。			
テキスト 参考文献	大原出版『数的処理 数的推理編テキスト』 『数的処理 数的推理編問題集』 『数的処理 スタンダード問題集』			
備考				

		学科	法律行政学科	
		学年	1 年次	
科目名	判断推理		授業形態	講義
			必選の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数
			80 時間	
科目教員	教員名	実務経験教員		単位数
	駒沢 裕喜			4 単位
	筒井 悠麻			授業回数
	本多 功拓			40 回
	土田 達也			成績評価方法
				試験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的	【授業目的】 公務員採用試験における判断推理科目で必要な知識の修得			
到達目標	【到達目標】 基礎レベルの問題を解けるようになる。			
授業内容	回 01:論理 02~03:集合の要素の個数 04~06:順序の決定 07:まとめ試験 第1回 08:順序の決定 09~11:対応 12:まとめ試験 第2回 13~15:位置と方位 16:勝ち負け 17:カードゲーム 18:まとめ試験 第3回 19:ウソの発言 20:推理・手順 21:暗号 22:まとめ試験 第4回	回 23~40:問題演習		
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。			
テキスト 参考文献	大原出版『数的処理 判断推理編テキスト』 『数的処理 判断推理編問題集』 『数的処理 スタンダード問題集』			
備考				

		学科	法律行政学科		
		学年	1 年次		
科目名	空間把握		授業形態	講義	
			必選の別	必修	
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数	80 時間
科目教員	教員名	実務経験教員		単位数	4 単位
	駒沢 裕喜			授業回数	40 回
	筒井 悠麻			成績評価方法	試験 80% 授業態度 20%
	本多 功拓				
土田 達也					
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法					
授業目的	【授業目的】 公務員採用試験における空間把握科目で必要な知識の修得				
到達目標	【到達目標】 基礎レベルの問題を解けるようになる。				
授業内容	回 01:折り紙 02:回転の軌跡 03:正多面体・展開図 04:平面図形中の図形の数 05:まとめ試験 第1回 06:サイコロ 07:見取り図と投影図・積木 08:立体の切断・回転体 09:一筆書き 10:まとめ試験 第2回 11~14:平面図形の計量 15:まとめ試験 第3回 16~19:平面図形の計量 20~25:立体図形の計量	回 26~40:問題演習			
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				
テキスト 参考文献	大原出版『数的処理 図形・資料解釈編テキスト』 『数的処理 図形・資料解釈編問題集』 『数的処理 スタンダード問題集』				
備考					

		学科	法律行政学科	
		学年	1 年次	
科目名	文章理解	授業形態	講義	
		必選の別	必修	
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	20 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	1 単位
	小田 悟		授業回数	10 回
	竹田 泰隆		成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
	駒沢 裕喜			
永井 航				
筒井 悠麻				
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 公務員採用試験における文章理解科目に必要な知識の修得 【到達目標】 基礎レベルの問題を解けるようになる。			
授業内容	回 01:内容把握問題 02:文章整序問題 03:空欄補充問題 04～10:問題演習			
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。			
テキスト 参考文献	大原出版『文章理解 テキスト』			
備 考				

		学科	法律行政学科		
		学年	1 年次		
科目名	政治		授業形態	講義	
			必選の別	必修	
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数	
				50 時間	
科目教員	教員名	実務経験教員		単位数	
	小田 悟				2 単位
	竹田 泰隆				授業回数
	永井 航				25 回
土田 達也				成績評価方法	
				試験 80% 授業態度 20%	
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法					
授業目的	【授業目的】 公務員採用試験における政治科目で必要な知識の修得				
到達目標	【到達目標】 基礎レベルの問題を解けるようになる。				
授業内容	回 01:政治の基本概念 02:政治制度論 03:日本国憲法の特色 04:基本的人権総論 05:包括的基本権 06:平等権 07:精神的自由権 08:経済的自由権 09:人身の自由 10:社会権 11:能動的権利と受益権 12:国会の機構と運営 13:憲法改正の手続き		回 14:内閣の機構と運営 15:裁判所の機構と運営 16:地方自治 17:政治過程論 18:総まとめ試験 19～25: 問題演習		
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				
テキスト	大原出版『政治 テキスト』				
参考文献	『社会科学 スタンダード問題集』				
備考					

		学科	法律行政学科	
		学年	1年次	
科目名	経 済		授業形態	講義
			必選の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数
			50 時間	
科目教員	教員名	実務経験教員		単位数
	小田 悟			2 単位
	竹田 泰隆			授業回数
	永井 航			25 回
土田 達也		成績評価方法		
				試 験 80%
				授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的	【授業目的】 公務員採用試験における経済科目で必要な知識の修得			
到達目標	【到達目標】 基礎レベルの問題を解けるようになる。			
授業内容	回 01:経済社会の変容と経済体制 02:現代の企業 03:現代の市場 04:国民所得 05:経済成長と景気循環 06:通貨制度と金融政策 07:財政制度と財政政策 08:貿易と外国為替 09:日本経済の動向 10:国際経済の動向 11~25:問題演習	回		
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。			
テキスト	大原出版『経済 テキスト』			
参考文献	『社会科学 スタンダード問題集』			
備 考				

		学科	法律学科行政	
		学年	1 年次	
科目名	社会時事		授業形態	講義
			必選の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数
				30 時間
科目教員	教員名		実務経験教員	単位数
	小田 悟			1 単位
	竹田 泰隆			授業回数
	永井 航			成績評価方法
土田 達也		試験 80%		
				授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的	【授業目的】 公務員採用試験における社会時事科目に必要な知識の修得			
到達目標	【到達目標】 基礎レベルの問題を解けるようになる。			
授業内容	回 01:労働問題 02:社会保障 03:環境問題 04:国際関係 05:社会理論 06:現代の諸相 07~15:問題演習	回		
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。			
テキスト	大原出版『社会 テキスト』			
参考文献	『社会科学 スタンダード問題集』			
備考				

		学科	法律行政学科		
		学年	1 年次		
科目名	パソコン実習		授業形態	実技	
			必選の別	必修	
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数	20 時間
科目教員	き	実務経験教員		単位数	1 単位
	大圖 由理 佐野 留美子			授業回数	10 回
				成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法					
授業目的 到達目標	【授業目的】 Word の基本操作に関する知識を身につける。 【到達目標】 Word の効果測定に合格する。				
授業内容	回 01: タイピング・Word の基本操作 02～04 : ブラインドタッチ入力練習 05～07 : 教科書入力練習 08～10: 直前答練問題演習				
準備学習等	特になし。				
テキスト 参考文献	大原出版『WORD PROCESSOR 筆記テキスト』 『WORD PROCESSOR 入力問題集』				
備 考					



		学科	法律行政学科		
		学年	1 年次		
科目名	ビジネス文書		授業形態	実技	
			必選の別	必修	
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数	20 時間
科目教員	教員名		実務経験教員		
	竹田 泰隆		単位数	1 単位	
	駒沢 裕喜			授業回数	10 回
本多 功拓		成績評価方法	試験 80% 授業態度 20%		
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法					
授業目的 到達目標	【授業目的】 公務員採用試験における提出書類の作成方法を身につける。 【到達目標】 公務員採用試験の提出書類完成				
授業内容	回 01:履歴書の書き方 02:面接カードの書き方 03~05:履歴書作成 06~10:面接カード作成				
準備学習等	採用試験提出の書類は必ず提出前に担当教員より添削を受けること。				
テキスト 参考文献	大原出版 『就職ガイドブック』 『就職ノートブック』				
備考					

		学科	法律行政学科		
		学年	1 年次		
科目名	計算実務（電卓）		授業形態	実技	
			必選の別	必修	
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数	60 時間
科目教員	教員名		実務経験教員	単位数	3 単位
	小田 悟			授業回数	30 回
	竹田 泰隆			成績評価方法	試験 80% 授業態度 20%
	駒沢 裕喜				
本多 功拓					
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法					
授業目的 到達目標	【授業目的】基礎授業、答案練習を通じて、検定本番で得点する能力を高めさせる。 【到達目標】日本電卓技能検定協会主催電卓技能検定試験 1・2 級合格				
授業内容	回 01:電卓基本知識 キータッチの練習 02:加減法の基本 03:見取算 04:乗除算 05:伝票算 06～30:問題演習				
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。 問題演習で出題された範囲の見直し、復習				
テキスト 参考文献	大原簿記学校 教材開発部『電卓マスター講座』 大原出版『電卓技能検定試験問題集 1・2 級』 『電卓技能検定試験 1・2 級伝票算問題』				
備考					

		学科	法律行政学科		
		学年	1 年次		
科目名	漢 字		授業形態	講義	
			必選の別	必修	
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数	40 時間
科目教員	教員名		実務経験教員	単位数	2 単位
	小田 悟			授業回数	20 回
	竹田 泰隆			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
	駒沢 裕喜				
本多 功拓					
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法					
授業目的	【授業目的】基礎授業、答案練習を通じて、検定本番で得点する能力を高めさせる。				
到達目標	【到達目標】日本ビジネス技能検定協会主催漢字能力検定試験 1 級合格				
授業内容	回 01: 訓読み・送り仮名・熟語 02: 同音異義・異字同訓 03: 誤字訂正 04: 類義語・反対語 05: 漢字の意味・漢字の使い方 06: ことわざ・故事成語・慣用句 07: 特殊な漢字の読み書き 08~20: 答案練習				
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。 答案練習で出題された範囲の見直し、復習				
テキスト 参考文献	日本ビジネス技能検定協会 『漢字能力検定試験対策問題集』 答案練習問題				
備 考					

		学科	法律行政学科	
		学年	1 年次	
科目名	自己啓発		授業形態	講義
			必選の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数
			50 時間	
科目教員	教員名	実務経験教員		単位数
	小田 悟			2 単位
	竹田 泰隆			授業回数
	駒沢 裕喜			25 回
	本多 功拓			成績評価方法
				試験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】自己啓発授業・講演会を通じた社会人マナー、社会人基礎力の養成 【到達目標】就職活動までに社会人基礎力を身につける。			
授業内容	回 01～03: 自己啓発授業 04～25: 講演会			
準備学習等	講演会終了後にレポートを作成し、提出する。			
テキスト 参考文献	資料を随時配布			
備考				

		学科	法律行政学科		
		学年	1 年次		
科目名	面接試験対策		授業形態	講義	
			必選の別	必修	
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数	50 時間
科目教員	教員名		実務経験教員	単位数	2 単位
	小田 悟			授業回数	25 回
	竹田 泰隆			成績評価方法	試験 80% 授業態度 20%
	駒沢 裕喜				
永井 航					
本多 功拓					
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法					
授業目的 到達目標	<p>【授業目的】 公務員試験における面接試験の傾向と対策を学ぶ。</p> <p>【到達目標】 自己分析を行い、自己PRを中心とした基本的な面接質問事項の対応を身につける</p>				
授業内容	回 01: 面接試験の傾向と対策 02: 提出書類について 03: 自己分析について 04~06: 自己分析の実施 07: 自己PRについて 08~10: 自己PR作成・添削 11: 志望動機の作成 12: 官庁研究の要領 13~14: 面接試験について 15: 官庁訪問について	回 16: 試験種別の質問例 17~20: 面接カード作成 21~25: 面接練習			
準備学習等	授業開始前に課される自己分析の課題を十分に準備すること。				
テキスト 参考文献	大原出版『テキスト 面接試験対策』				
備考					

		学科	法律行政学科		
		学年	1 年次		
科目名	官庁・企業研究		授業形態	実習	
			必選の別	必修	
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数	40 時間
科目教員	教員名		実務経験教員	単位数	2 単位
	竹田 泰隆			授業回数	20 回
	駒沢 裕喜			成績評価方法	試験 80% 授業態度 20%
	筒井 悠麻				
	本多 功拓				
土田 達也					
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法					
授業目的 到達目標	【授業目的】 公務員採用試験における官庁ごとの必要な知識の習得 【到達目標】 官庁ごとの情報をまとめ、発表できるようになる。				
授業内容	回 01～07: 第 1 回官庁研究班活動 08～10: 第 1 回官庁研究発表会 11～17: 第 2 回官庁研究班活動 18～20: 第 2 回官庁研究発表会				
準備学習等	班活動前に官庁の情報を調べ、各自資料を集めてくる。				
テキスト 参考文献	大原出版『面接試験対策 テキスト』 資料を随時配布				
備考					

		学科	法律行政学科		
		学年	1 年次		
科目名	日本史		授業形態	講義	
			必選の別	選択	
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数	50 時間
科目教員	教員名		実務経験教員	単位数	2 単位
	竹田 泰隆			授業回数	25 回
	武内 均			成績評価方法	試験 80% 授業態度 20%
本多 功拓					
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法					
授業目的 到達目標	【授業目的】公務員採用試験における日本史科目に必要な知識の修得 【到達目標】基礎レベルの問題を解けるようになる。				
授業内容	回 01:旧石器文化・縄文文化・弥生文化 02:大和政権と古墳文化 03:聖徳太子の政治と飛鳥文化 04:大化の改新と白鳳文化 05:律令体制の完成と天平文化 06:平安時代と国風文化 07:鎌倉時代 08:室町時代 09:まとめ試験 1 回 10:封建社会の確立 11:文治政治と元禄文化 12:幕藩体制の動揺 13:まとめ試験 2 回 14:幕末 15:明治維新と文明開化		回 16:立憲体制の成立 17:日清・日露戦争と資本主義経済の発展 18:近代文化の発展 19:第一次世界大戦と戦後の外交 20:第二次世界大戦と日本 21:GHQ の統治時代 22:1950～70 年代の日本 23:1980 年代以降の日本 24:まとめ試験 3 回 25:総まとめ試験		
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				
テキスト 参考文献	大原出版『日本史 テキスト』 『人文科学 スタンダード問題集』				
備考					

		学科	法律行政学科	
		学年	1 年次	
科目名	世界史		授業形態	講義
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数
				50 時間
科目教員	教員名		実務経験教員	単位数
	竹田 泰隆			授業回数
	武内 均			試験 80%
本多 功拓		成績評価方法		
				授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】公務員採用試験における世界史科目に必要な知識の修得 【到達目標】基礎レベルの問題を解けるようになる。			
授業内容	回 01:古代文明 02:中国史 (1) 03:中国史 (2) 04:中国史 (3)・周辺諸国の動向 05:まとめ試験 1 回 06:イスラム世界 07:古代地中海世界 08:中世ヨーロッパ 09:近代ヨーロッパの誕生 10:16~18 世紀のヨーロッパ 11:近代ヨーロッパの誕生 12:19 世紀の前半の欧米 13:まとめ試験 2 回 14:19 世紀後半の欧米 15:第一次世界大戦		回 16:ヴェルサイユ体制 17:アジアの民族運動 18:世界恐慌 19:ファシズムの台頭 20:第二次世界大戦 21:冷戦と民族運動 22:冷戦の変化と多様化 23:冷戦の終結 24:まとめ試験 3 回 25:総まとめ試験	
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。			
テキスト 参考文献	大原出版『世界史 テキスト』 『人文科学 スタンダード問題集』			
備考				



		学科	法律行政学科	
		学年	1 年次	
科目名	地 理		授業形態	講義
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数
			50 時間	
科目教員	教員名		実務経験教員	単位数
	竹田 泰隆			2 単位
	武内 均			授業回数
本多 功拓		成績評価方法		
			試験 80%	
			授業態度 20%	
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】公務員採用試験における地理科目に必要な知識の修得 【到達目標】基礎レベルの問題を解けるようになる。			
授業内容	回 01:地形 02:世界の気候・植生・土壌 03:まとめ試験 1 回 04:食糧の生産と消費 05:エネルギー資源と原料資源 06:工業化と工業地域 07:まとめ試験 2 回 08:地図の特色と利用 09:村落と都市 10:人口の地域的特色 11:国土と住民 12:交通・通信と貿易 13:世界の環境問題 14:日本の国土・人口 15:日本の産業	回 16:日本の諸地域 17:アジア 18:アフリカ 19:ヨーロッパ① 20:ヨーロッパ② 21:ロシアと周辺諸国 22:アングロアメリカ 23:ラテンアメリカ 24:まとめ試験 3 回 25:総まとめ試験		
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。			
テキスト 参考文献	大原出版『地理 テキスト』 『人文科学 スタンダード問題集』			
備 考				

		学科	法律行政学科	
		学年	1 年次	
科目名	生物・化学		授業形態	講義
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数
			30 時間	
科目教員	教員名	実務経験教員		単位数
	駒沢 裕喜			1 単位
	筒井 悠麻			授業回数
			15 回	
			成績評価方法	試験 80%
				授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 公務員採用試験における生物・化学科目に必要な知識の修得 【到達目標】 基礎レベルの問題を解けるようになる。			
授業内容	回 01: 生体の構造 02: 生体内の代謝 03: 生殖と発生 04: 遺伝と変異 05: 刺激の受容と反応 06～07: 内部環境の恒常性と調節 08～15: 問題演習			
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。			
テキスト 参考文献	大原出版『生物 テキスト』 『自然科学 スタンダード問題集』			
備考				

		学科	法律行政学科		
		学年	1年次		
科目名	物理・地学		授業形態	講義	
			必選の別	選択	
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数	30時間
科目教員	教員名		実務経験教員	単位数	1単位
	駒沢 裕喜 筒井 悠麻			授業回数	15回
				成績評価方法	試験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法					
授業目的 到達目標	【授業目的】公務員採用試験における物理・地学科目で必要な知識の修得 【到達目標】基礎レベルの問題を解けるようになる。				
授業内容	回 01:地球の姿と動く大地 02:岩石 03:大気と海洋 04:太陽系と宇宙の構造 05~15:問題演習				
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				
テキスト 参考文献	大原出版『地学 テキスト』 『自然科学 スタンダード問題集』				
備考					

		学科	法律行政学科		
		学年	1 年次		
科目名	資料解釈		授業形態	講義	
			必選の別	選択	
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数	20 時間
科目教員	教員名		実務経験教員	単位数	1 単位
	駒沢 裕喜			授業回数	10 回
	筒井 悠麻			成績評価方法	試験 80% 授業態度 20%
	本多 功拓				
土田 達也					
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法					
授業目的 到達目標	【授業目的】 公務員採用試験における資料解釈科目で必要な知識の修得 【到達目標】 基礎レベルの問題を解けるようになる。				
授業内容	回 01:実数・割合 02:構成比 03:指数 04:増加率 05:いろいろな資料 06～10:問題演習				
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				
テキスト 参考文献	大原出版『数的処理 図形・資料解釈編テキスト』 『数的処理 図形・資料解釈編問題集』 『数的処理 スタンダード問題集』				
備考					

		学科	法律行政学科	
		学年	1 年次	
科目名	憲法概論		授業形態	講義
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数
			40 時間	
科目教員	教員名	実務経験教員		単位数
	永井 航			2 単位
				授業回数
			20 回	
			成績評価方法	試験 80%
				授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】公務員採用試験における憲法科目に必要な知識の修得 【到達目標】基礎レベルの問題を解けるようになる。			
授業内容	回 01:憲法のしくみ 02:基本的人権・総論 03:法の下での平等 04:精神的自由権(1) 05:精神的自由権(2) 06:経済的自由権 07:人身の自由 08:社会権 09:統治機構・国会 10:内閣 11:裁判所 12:地方自治		回 13~19:論点別問題演習 20:確認テスト	
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。			
テキスト 参考文献	大原出版『憲法 テキスト』 『憲法 実戦問題集』			
備考				

		学科	法律行政学科		
		学年	1 年次		
科目名	民法概論		授業形態	講義	
			必選の別	選択	
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数	60 時間
科目教員	教員名		実務経験教員	単位数	3 単位
	永井 航			授業回数	30 回
				成績評価方法	試験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法					
授業目的 到達目標	【授業目的】公務員採用試験における民法概論科目に必要な知識の修得 【到達目標】基礎レベルの問題を解けるようになる。				
授業内容	回 01: 権利能力 02: 法人 03: 無効・取消し 04~05: 代理権 06: 時効 07: 物権 08: 物権変動 09: 占有権・共有 10: 留置権・質権 11: 抵当権 12: 債務不履行		回 13: 債権者代位権 14: 連帯債務・保証債務 15: 債権譲渡の続き 16: 契約の効力 17: 売買 18: 賃貸借 19~20: 親族法 21~22: 相続法 23~29: 論点別問題演習 30: 確認テスト		
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				
テキスト 参考文献	大原出版『民法 テキスト』 『民法Ⅰ 実戦問題集』 『民法Ⅱ 実戦問題集』				
備考					

		学科	法律行政学科	
		学年	1 年次	
科目名	行政法概論		授業形態	講義
			必選の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数
				30 時間
科目教員	教員名	実務経験教員		単位数
	永井 航			1 単位
				授業回数
				15 回
				成績評価方法
				試験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	<p>【授業目的】 公務員採用試験における行政法科目に必要な知識の修得</p> <p>【到達目標】 基礎レベルの問題を解けるようになる。</p>			
授業内容	回 01:行政法の基礎概念 02:行政行為の種類・行政行為の効力 03:行政行為の取消・撤回・行政上の強制措置 04:行政調査・行政指導・行政立法 05:行政手続 06:情報公開 07:行政不服審査法	回 08:取消訴訟（訴訟要件） 09:取消訴訟（取消訴訟の審理） 10:国家賠償法 11:損失補償・行政組織論・地方自治 12~14:論点別問題演習 15:確認テスト		
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。			
テキスト 参考文献	大原出版『行政法 テキスト』 『行政法 実戦問題集』			
備考				

		学科	法律行政学科	
		学年	1 年次	
科目名	経済学概論		授業形態	講義
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無	授業時間数	80 時間
科目教員	教員名		単位数	4 単位
	小田 悟 筒井 悠麻		実務経験教員	授業回数
			成績評価方法	試験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 公務員採用試験における経済学科目で必要な知識の修得 【到達目標】 基礎レベルの問題を解けるようになる。			
授業内容	回 01:市場均衡と余剰 02:価格弾力性・課税と 税負担 03:家計の行動①最適消費 点の導出 04:家計の行動②所得変化 と価格変化 05:家計の行動③労働供 給・消費と貯蓄 06:企業の行動①利潤最大 化	回 07:企業の行動②外部性・自 然独占 08:不完全競争市場 09:公共財 10:外部性・自然独占 11:比較生産費説 12:ゲーム理論 13:国民経済計算 14: 45 度分析 15: IS・LM 分析	回 16:金融政策・財政政策 17:国際マクロ経済 18:消費と貯蓄・投資 19:経済成長の理論 20:AD-AS 分析 21:フィリップス曲線 22:インフレ需要曲線分析 23~39: 論点別問題演習 40:確認テスト	
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。			
テキスト 参考文献	大原出版『経済学Ⅰ テキスト』 『経済学Ⅰ 実戦問題集』 『経済学Ⅱ テキスト』 『経済学Ⅱ 実戦問題集』			
備考				



		学科	法律行政学科		
		学年	1 年次		
科目名	財政学概論		授業形態	講義	
			必選の別	選択	
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数	20 時間
科目教員	教員名	実務経験教員		単位数	1 単位
	小田 悟			授業回数	10 回
			成績評価方法	試験 80% 授業態度 20%	
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法					
授業目的 到達目標	【授業目的】 公務員採用試験における財政学科目で必要な知識の修得 【到達目標】 基礎レベルの問題を解けるようになる。				
授業内容	回 01: 財政の基礎 02: 財政制度 03: 財政事情 04: 租税 05: 公債 06: 地方財政 07: 財政事情の国際比較 08~09: 論点別問題演習 10: 確認テスト				
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				
テキスト 参考文献	大原出版『財政学 テキスト』 『財政学 実戦問題集』				
備考					

		学科	法律行政学科		
		学年	1 年次		
科目名	政治学概論		授業形態	講義	
			必選の別	選択	
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数	30 時間
科目教員	教員名	実務経験教員		単位数	1 単位
	永井 航			授業回数	15 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%	
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法					
授業目的 到達目標	【授業目的】 公務員採用試験における政治学科目で必要な知識の修得 【到達目標】 基礎レベルの問題を解けるようになる。				
授業内容	回 01: 国家論 02: 政治権力 03: リーダーシップ論 04: 政党・選挙制度 05: 圧力団体・立法・政策過程 06: 権力分立論 07: 政治思想と政治理論 08~14: 論点別問題演習 15: 確認テスト				
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				
テキスト 参考文献	大原出版『政治学 テキスト』 『政治学 実戦問題集』 『一問一答 政治学・行政学』				
備 考					

		学科	法律行政学科	
		学年	1 年次	
科目名	行政学概論		授業形態	講義
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数
				20 時間
科目教員	教員名		実務経験教員	単位数
	小田 悟 永井 航			1 単位
				授業回数
				10 回
				成績評価方法
				試験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 公務員採用試験における行政学科目で必要な知識の修得 【到達目標】 基礎レベルの問題を解けるようになる。			
授業内容	回 01:行政理論 02:行政組織 03:行政改革・官僚制論 04:政策過程・予算 05:行政責任・行政統制 06:地方自治 07~09:論点別問題演習 10:確認テスト			
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。			
テキスト 参考文献	大原出版『行政学 テキスト』 『行政学 実戦問題集』 『一問一答 政治学・行政学』			
備考				

		学科	法律行政学科	
		学年	1 年次	
科目名	社会学概論		授業形態	講義
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数
				20 時間
科目教員	教員名	実務経験教員		単位数
	永井 航			授業回数
				成績評価方法
				試験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】公務員採用試験における社会学科目に必要な知識の修得 【到達目標】基礎レベルの問題を解けるようになる。			
授業内容	回 01～02:社会学史 03:社会学の基礎概念 04:社会集団 05:地域社会 06:経営と労働・現代的課題 07～09:論点別問題演習 10:確認テスト			
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。			
テキスト 参考文献	大原出版『社会学 テキスト』 『社会学 実戦問題集』 『一問一答 経営学・社会学』			
備考				

		学科	法律行政学科	
		学年	1年次	
科目名	経営学概論		授業形態	講義
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数
				20 時間
科目教員	教員名	実務経験教員		単位数
	小田 悟			1 単位
				授業回数
				10 回
				成績評価方法
				試験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 公務員採用試験における経営学科目で必要な知識の修得 【到達目標】 基礎レベルの問題を解けるようになる。			
授業内容	回 01: 伝統的管理論 02: 人間関係論 03: モチベーション論 04: 近代組織論・現代企業論 05: 経営組織論 06: 経営戦略論 07: 日本の経営 08: 生産管理・製品開発論 09: マーケティング 10: 企業財務論			
準備学習等	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。			
テキスト 参考文献	大原出版『経営学 テキスト』 『経営学 実戦問題集』 『一問一答 経営学・社会学』			
備考				

		学科	法律行政学科	
		学年	1年次	
科目名	適性検査演習		授業形態	演習
			必選の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無		無		授業時間数
				80 時間
科目教員	教員名	実務経験教員		単位数
	竹田 泰隆			授業回数
	駒沢 裕喜 本多 功拓			成績評価方法
				試験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法				
授業目的 到達目標	【授業目的】 公務員採用試験における適性検査で必要な技術の修得 【到達目標】 基礎レベルの問題を解けるようになる。			
授業内容	回 01: 適性試験の概要 02~32: テキスト問題演習 33~57: 国家Ⅲ種復元問題演習 58~82: 地方初級問題演習 83~106: オリジナル問題演習 107~160: 実戦問題演習			
準備学習等	各回の問題を復習し、解き方を理解すること。			
テキスト 参考文献	大原出版『適性試験 テキスト』 『適性試験 実戦問題集』 『適性試験 国家Ⅲ種復元問題集』 『適性試験 地方初級復元問題集』 『適性試験 オリジナル問題集』			
備考				

		学科	法律行政学科	
		学年	1 年次	
科目名	トレーニング実習		授業形態	実習
			必選の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		有	授業時間数	20 時間
科目教員	教員名	実務経験教員	単位数	1 単位
	迫 慶太		授業回数	10 回
			成績評価方法	試 験 80% 授業態度 20%
実務経験教員の経歴と授業内容への反映方法	民間スポーツ施設指導者			
授業目的 到達目標	【授業目的】体力を保持し、健康なコンディション作りができるような方法を学ぶ。 【到達目標】就職を希望する官庁の体力試験合格基準を満たす体力を作る。			
授業内容	回 01：スポーツテスト(腕立て伏せ・上体起こし・反復横跳び・握力・立ち幅跳び) 02：栄養学 03～09：体カトレーニング 10：スポーツテスト(腕立て伏せ・上体起こし・反復横跳び・握力・立ち幅跳び)			
準備学習等	特になし。			
テキスト 参考文献	特になし。			
備 考				